

「白堊研究Ⅰ」（第14回）学習指導案

- 1 単元名 「レアな人材」とは
- 2 本時の目標
- ・「AI時代を生き抜くレアな人材とは何か？」を考える。
 - ・「守破離」「生物多様性」「その他」など、身近なキーワードを使って考える。
 - ・「レアな人材になるためにどうしたら良いか？」を考える。

3 本時について

(1) 特徴

夏休み前の集会において、校長より、これから来る AI 時代を生き残るために参考となる本を読むように宿題が出され、夏休み明けの集会で、そのためのヒントが出された。『AI 時代を生き残るためにレアな人材になりなさい』との話である。そのためにどうしたらよいか、話し合いをしながら考えてをまとめ、発表する。

(2) 用語（「大辞泉」より）

「守破離」

剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの。「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身につける段階。「破」は、他の師や流派の教えについても考え、良いものを取り入れ、心技を発展させる段階。「離」は、一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階。

「生物多様性」

いろいろな生物が存在しているようす。生態系の多様性、種(しゆ)における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在すること。バイオダイバーシティ。

4 準備・資料

マッキー、付箋（赤・青）、ワークシート（個人用、全体用）、振り返りシート、筆記用具（生徒）

5 展開

過程	学習活動	指導内容および留意点
授業前	<ul style="list-style-type: none"> ・事前配布をする。 ・学習状態を編制する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間前に教室に入り、配付物を配付する。 マッキー、付箋（赤・青）、ワークシート（個人用、全体用）、振り返りシート、 ・グループ編成をしておく（6グループ程度でよい）。
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的確認 ・手法として 	<p>「夏休み前の集会において、校長先生から、これから来る AI 時代を生き残るために参考となる本を読むように宿題が出され、夏休み明けの集会で、そのためのヒントが出されました。『AI 時代を生き残るためにレアな人材になりなさい』との話でしたね。今日は、そのためにどうしたらよいか考えていきましょう。また、話し合いをしながら考えてをまとめ、発表してもらいます。」</p> <p>「前回、コミュニケーション研修において、聞き手の対応が重要であることを学びました。話し合い、ディスカッションにも作法がありましたね。今日は、これらの点に気を付けながら、話し合いをしてください。」</p>
展開 (1) 観察 30分	「ブレインストーミング」	<p>「しかし、充実した話し合いをするためには、自分自身である程度考えておく必要があります。そこで、以前学んだブレインストーミングを活用します。『個人用ワークシート』を出してください。今日のテーマを考えるにあたって、3つの工程で考えることを提案します。1 つは、『レアな人材とは？』。2 つ目は『問題解決のヒントとなるキーワードとその意味』。こちらからは、『守破離』『生物多様性』をキーワードとして提示しますが、そのほかのものを考えても構い</p>

	「KJ法」	<p>ません。3つ目に『問題解決のため、どうしたらよいか?』です。これらの考えを、青い付箋に書き出し、たくさん貼ってください。文は短文が良いです。付箋はたくさん使って構いません。キーワード検索には電子辞書を使ってもよいです。時間は、5分間です。では、始めてください。」(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生徒作業(5分) 「やめてください。」 <p>「つづいて、グループで話し合いをしてもらいます。今度は、『全体用ワークシート』を出してください。こちらには、項目はありません。自由に話し合いに使ってください。個人で考えた内容を青い付箋を貼りながら発表します。それが終わって全体で話し合ったとき出てきた案は、赤い付箋に記載して貼ってください。付箋は、何度も張り直しができます。ひとまとまりになりそうな付箋は、近くに集め、丸で囲んで、グループとなる理由を記載してください。このようにして、話をまとめていく方法をKJ法といいます。KJ法をうまく利用し、グループで問題解決を図ってください。『AI時代を生き抜く方法としてレアな人材以外の方法』にたどり着いても構いません。ただし、グループとして、話し合いはまとめてください。後で発表してもらいます。」(5分)</p> <p>「話し合いの時間は15分です。始めてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生徒作業(15分) (発表できそうな班を探す。) 「やめてください。」
展 開 (2) 発表 8分	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒発表(5~8分) 全体 or 複数班 	<p>「では発表してもらいます。」</p> <p>※発表方法は、時間で対応。 1班当たりの時間は指定すること。 複数犯のとき、自主性を優先すること。</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> • まとめ • 振り返りシートを記入する。 (5分) 	<ul style="list-style-type: none"> • 教員自身の考えを述べる。1つの考え方という前提をつけること。(5分程度) <p>「では、振り返りシートを記入してください。」</p> <p>※80字文は、具体的に、きっちり80字書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 短文でも内容の濃いものを書くことで、思考力が高まる。
おわり 2分	<ul style="list-style-type: none"> • プリントの回収をする。 • 礼儀正しく挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> • マッキー、付箋(赤・青)、 「ワークシート(全体用)」、「振り返りシート」 <p>「以上で、授業を終わりにします」(号令)</p>

個人用ワークシート（A4 版）

1年 組 番 名前_____

テーマ『AI時代に生き残るためのレアな人材になるためにはどうしたら良いか？』

○レアな人材とは？

○教訓となる身近なキーワードとその意味

例)『守破離』『生物多様性』 その他, 自分で考えてみよう。

○どうしたら良いか？

全体用ワークシート（A3版）

1年 組 班 メンバー名前 _____

テーマ『AI時代に生き残るためのレアな人材になるためにはどうしたら良いか？』

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】＜教員用＞

⑭「レアな人材」とは？

1年（ ）組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・時間通りできなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・指示がうまくいかなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・生徒が積極的に動かなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・その他の問題点		